

箱根町立郷土資料館 ～お正月を楽しむ会～

令和6年1月5日 9時30分～13時（なくなり次第終了）



お正月遊びを楽しもう！ 9時30分から

かるた・羽根つき・コマ回しなど…大人の方も子どもの時に遊んだかもしれない、なつかしいお正月の遊び道具を用意しています。



「七草がゆ」を食べよう！ 11時30分頃から

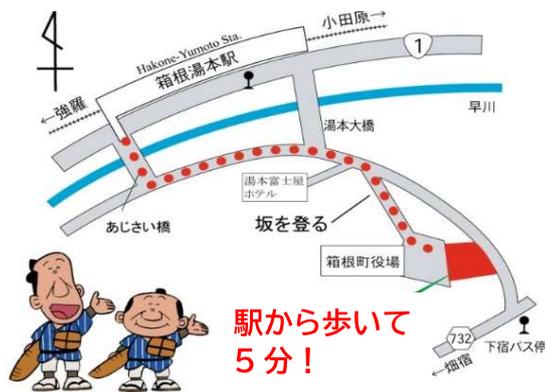
食べると1年間病気にならないと言われている「七草がゆ」一作りたてを食べることがで

きます。お餅もちを入れるのが、箱根の特色です。



この日は誰でも入館無料!
参加費もかかりません

箱根町湯本 266
(箱根登山鉄道「箱根湯本」駅から徒歩5分)
TEL: 0460-85-7601 (生涯学習課)



会場：箱根町立郷土資料館

七草がゆについて知ろう

毎年1月7日に、七草ななくさをおかゆにいれた「七草がゆ」を食べる習わしは、昔から全国で行われています。

七草とは、せり、なずな、ごぎょう(ハハコグサ)、はこべら(ハコベ)、ほとけのぎ(コオニタビラコ)、すずな(カブ)、すずしろ(ダイコン)のことを言います。



6日の夜には、歳神様としがみさま(神棚かみだな)の前で、まな板に七草をのせ、

♪ ナンナンナクサ、七草ななくさなすな
唐土とうどの鳥と、日本の鳥と、渡わたらぬ先に、
合わせてバタバタ…♪

と「おまじない」をとなえながら、包丁ほうちょうとすりこぎぼう棒で、七草をたたいたそうです。

この「おまじない」は正月に、田んぼや畑の作物を食べってしまう鳥を追いはらい、豊作を願う「鳥追い」の行事が変化したものと考えられています。

7日には、七草を歳神様としがみさまにおそなえした後、おかゆに入れます。箱根では、七草がゆの中におもちを入れる点が、ほかと変わっています。そして、このおかゆを食べると、1年間病気にならない(無病むびょう息災そくさい)と言われている。

